

令和7年度 調布市立上ノ原小学校 学校経営計画（学校長 釜池 秀男）

学校の教育目標	
◎よく考え 進んで学習する子ども ○思いやりをもち 仲良くする子ども ○健康で 明るく元気な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
<p>目指す学校像 【笑顔あふれる楽しい学校】</p> <p>(1) 児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」</p> <p>【日々】 ・学んで分かるよろこび ・友達と関わることのできるよろこび ・心を解放して体を動かすよろこび</p> <p>【長い目で】 ・自分の成長が実感できるよろこび ・自分の存在が認められるよろこび ・自分の将来に希望がもてるよろこび</p> <p>(2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」</p> <p>・よく見える学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く, 丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→協力, 協働の取組 (来校機会確保, 学校 HP, すぐーの活用) (子どもの成長を願って共に悩み, 喜び) (コミュニティ・スクール, 学校を核とした地域づくり)</p> <p>(3) 教職員にとって「楽しくやりがいのある職場」</p> <p>・風通しのよい明るい職場 ・やりたいことができる職場 ・成長できる職場 (まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと) (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ) (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任を)</p>	
<p>ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)</p>	<p>○児童は, 学力が高く真面目な児童が多いが, 全体的におとなしく控えめである。令和6年度体力テストの結果(学年別男女別)では, 1年男子と女子, 3年男子, 5年女子, 6年男子と女子が東京都平均の数値を下回っているが令和5年度調査と比較して, 改善されてきている。児童が自分のよさに気づき, 自分のよさを生かすことができるよう, 環境を整え, 活力に満ちた学校にすることが課題である。</p> <p>○不登校及び不登校傾向のある児童が多い。家庭, SC, 関係機関と連携した組織的な対応を進めること, また, コミュニティ・スクールとして, 「地域とともにある学校」づくりを推進することが課題である。</p> <p>○教科担任制を生かし, 校内研究やOJTを通して, 教員の指導力を向上させること。また, 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ, 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行うことが課題である。</p>
中期的な経営目標	
<p>① 自他の命を大切にし, 人と人との良い関係を築く力の育成 ② 自ら課題を発見し, 解決していく力の育成 ③ 心と体を鍛え, 前向きに行動する力の育成 ④ 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり ⑤ 美しい環境の学校づくり</p> <p>人・組 ・授業力の向上 ・校務分掌の活性化 ・服務規律の徹底 ・ライフ・ワークバランスの推進</p>	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)
①教科担任制や交換給食を通して子どもの良さを多面的・多角的に見取り, 自己肯定感・自己有用感を育む。	①週ごとの指導計画を作成, 提出し, 計画的な指導を行い, 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。	①挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着を図る。
②集団への所属感を高め, 充実した学校生活を送るために行事を改善する。また, 道徳授業改善のためにローテーション授業を行う。	②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善, 子どもを主語にした学習を推進する。	②栄養士による給食メモ, 養護教諭による保健指導を通して, 心身の健康の保持増進に関する意識を高める。
③学校生活アンケートを毎月実施するとともに児童や保護者の声に耳を傾け, 素早く丁寧で誠実な対応をし, 心の居場所づくりに努める。	③一人1台モバイル端末を効果的に活用し, 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	③ねらいを明確にし, 運動量を確保した体育授業を行うとともに, 持久走週間・なわ跳び週間等の体育的活動を通して体力の向上を図る。
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)
①市・魅力ある学校づくり調査「学校が楽しい」55%以上	①国・学力調査・平均正答率国語 70%以上・算数 70%以上	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A 評価 35%以上
②市・魅力ある学校づくり調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上	②市・魅力ある学校づくり調査「授業に主体的に取り組んでいる」45%以上	②都・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上, 「毎日8時間以上寝ている児童」70%以上
③保護者アンケート「子供たちが安心して生活できる」A 評価 60%以上	③市・魅力ある学校づくり調査「授業がよく分かる」50%以上	③都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年(男女別) 50%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり	
(1) 取組目標(具体的方策)	(1) 取組目標(具体的方策)	
①保護者の来校機会を毎月確保する。HPを年間200回更新する。	①靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。	
②学校運営協議会と協議を重ね, 地域とともにある学校づくりを進める。	②FF暖房機撤去, 教室ロッカー, 壁, 掲示板の改修を計画的に行う。	
(2) 成果目標(数値目標)	(2) 成果目標(数値目標)	
① 保護者アンケート「家庭で学校の出来事が話題になる」A 評価 55%以上	①靴箱の靴がそろっている学級, 清掃が行き届いた学級 55%以上	
② 保護者アンケート「地域・保護者と協力した教育活動」A 評価 55%以上	②保護者アンケート「教育環境の整備に努めている」A 評価 45%以上	

人材育成・組織運営
<p>○授業力の向上</p> <p>・教科担任制を生かして教材研究を深める ・OJTの推進 ・校内授業公開実施による学び合いの機会確保 ・校内研究の充実</p> <p>○校務分掌等の活性化</p> <p>・主幹教諭を核とした組織運営の推進 ・起案文書の流れを徹底し, 職の立場と役割を明確にし, 意識を向上させる。</p> <p>○服務規律の徹底</p> <p>・定期的な研修とサービスニューズレターを活用した校長講話により, 教育公務員としての自覚と人権意識を高める。</p> <p>○ワーク・ライフバランスの推進</p> <p>・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化させることで, 全教職員の1か月の時間外勤務45時間以内を目指す。</p>